

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	健康推進課長 村下 伯	電話番号	0852-22-5248
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	地域保健関係職員研修事業		
目的	(1) 対象	県、市町村で働く保健師、管理栄養士（栄養士）、歯科衛生士	
	(2) 意図	地域住民のニーズに応じた保健・医療・福祉の総合的なサービスの提供や質の高い地域保健活動ができる人材を育成する。	
事業概要	島根県人材育成ガイドラインを活用し、保健師等について新任期、中堅期、管理期の研修会や保健所単位の研修会、県外研修を系統的に実施する。評価のため、現任教育支援検討階を毎年開催し評価を行う。県実施する研修だけでなく、保健師等の職能団体と連携した研修会を開催する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 新任期、中堅期、管理期研修の受講終了率：100%	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	%
		取組目標値						
	式・定義 対象研修：新任期研修、中堅期研修、管理期研修の受講 計算式：研修終了者÷対象者（県・市町村保健師）×100	実績値	79.0					%
	達成率	-	-	-	-	-		
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						%
	達成率	-	-	-	-	-		

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	2,373	4,081
うち一般財源 (千円)	1,828	2,644

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度に、「地域における保健師の保健活動に関する指針の活用及び保健師の人材育成に関する実態調査」を実施した。（調査の結果から）</li> <li>研修に対する満足度は、新任期が87%、中堅期・管理期・保健所実施研修が76%～78%であった。</li> <li>保健師としての、専門性である「情報収集能力」「個別及び集団への継続的支援能力」「関係機関との調整能力」は高い。</li> <li>しかし、中堅期では「調査研究に関する能力」「人材育成に関する能力」、管理期では「人材育成に関する能力」「健康危機管理に関する能力」が低率であった。</li> </ul>
---

6. 成果があったこと（改善されたこと）

<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度の方向性で示していた「保健師等の能力獲得に関する調査」と「保健師等活動指針」の作成を実施した。</li> <li>保健師の各時期の獲得能力についての実態調査を実施し、現状が明確となり、人材育成の内容が明確になった。</li> <li>「島根県保健師等活動指針」を検討し、今後の保健師活動の方向性が明確となった。</li> <li>「島根県人材育成ガイドライン」を活用し、松江市がガイドラインを作成された。</li> </ul>
---

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

<p>①困っている「状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県保健師の人材育成の方向性が不明確（キャリアパス、キャリアラダー、ジョブローテーションが不明）</li> <li>全市町村、保健所に統括保健師が配置されていない</li> <li>保健師自身が自ら気づき学ぶ体制が不十分</li> </ul>
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県保健師の人材育成計画等がない</li> <li>統括保健師の役割、配置することのメリットが不明、所属内での説明が不十分</li> <li>島根県人材育成ガイドラインで作成した「保健師自身の気づきと学びのためのツール活用が不十分</li> </ul>
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県保健師の人材育成計画の策定</li> <li>統括保健師の役割、必要性を明確にする</li> <li>島根県人材育成ガイドラインで作成した「保健師自身の気づきと学びのためのツール活用する体制づくりをする</li> </ul>

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

<ul style="list-style-type: none"> <li>県保健師の人材育成計画策定</li> <li>統括保健師の役割、必要性について学習する場の開催と統括保健師等の連絡会の開催</li> <li>職場単位で自己評価とその支援ができる体制づくりを保健所から実施し、課題を整理する。</li> <li>保健師の獲得能力で低い点を研修のプログラム等に取り入れて実施する。（H28は健康危機管理、事業評価）（H29から調査に関する研修ができ企画検討をする）</li> </ul>
---

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）

--